

# ほっと

勤続3年 相談支援専門員  
新井 真由美

館林邑楽相談支援センターほっとは、館林市の他、邑楽町、板倉町、千代田町、明和町の一市四町の方の一般相談と特定相談、障害児相談を行っています。

職員は2025年10月現在、相談支援専門員が15名、相談員が1名、事務員が1名です。児童から高齢まで障害に関することや、日常生活の様々な相談を受け、地域で安心して生活していけるよう一人一人に合った情報提供や福祉サービスの調整等を行っています。また、虐待防止センターや拠点として地域生活支援対応も行っています。

相談支援部会、児童発達支援部会、日中活動支援部会、精神支援部会、居住生活部会、自立支援協議会にも参加し、地域の課題に取り組んでいます。

来年度は、以前から圏域で検討していた基幹相談支援センターの整備が進められています。共同生活援助や就労継続支援等の福祉サービスも少しずつ充実し、相談支援事業所も増えてきており、今年度から協同体で会議を行ったりしています。これからもそれぞれの事業所の強みを生かしながら、地域で協力し皆でより良い相談支援を展開していければと思います。



## 第二陽光園

勤続7年 生活支援員  
山根 朋絵

平成8年の開所以来、ご家族や地域の皆様の支えをいただきながら、第二陽光園は今年で29年を迎えました。「利用者の笑顔と健康のために、ぬくもりのある生活を提供する」という基本理念のもと、日々の支援に取り組んでいます。今年度は個人の活動に重点を置き、それぞれの特性や興味関心に合わせた自立課題や活動の提供を行っています。

洗濯物たたみや掃除などの生活に関わる活動のほか、音楽や絵画などの趣味を生かした課題にも取り組み、達成感や自己表現の機会に繋げています。また、利用者さん一人一人の気持ちを尊重し、その日の活動内容やおやつなど、出来る限り「自分で選ぶ」「自分で決める」機会を持てるよう心がけています。

年齢を重ねる方が増える中で、生活のリズムや体調に合わせた支援が必要になります。無理なく安心して過ごせるよう配慮し、今後も季節の行事や誕生会などを通して、利用者さんの穏やかでぬくもりのある毎日を支えていきます。

